

## 令和元年度ケアマネジャーのための在宅療養セミナー企画書

- 1 目 的 介護を必要とする市民の在宅療養生活に欠かせないケアマネジャーは、市民の相談に乗り、支援する役割を担っているが、そのために医療関係者との連携は欠かせない。医師・看護師など医療関係者と円滑にコミュニケーションを行い、連携を深めるため、ケアマネジャーは、必要な医療知識を学ぶ機会を求めている。  
そこで、ケアマネジャーを対象に市民の在宅療養を支援するため必要な医療知識を学ぶセミナーを開催する。
- 2 主 催 横須賀市  
共 催 公益財団法人横須賀市健康福祉財団  
企 画 横須賀市在宅療養連携会議
- 3 対 象 ケアマネジャー
- 4 実施方法 基礎講座とトピック講座の 2 コースを設定する。  
基礎講座：午後半日で複数単元を学ぶ。  
トピック講座：平日日中に 1 単元を学ぶ。全 3 回開催。
- 5 人 数 定員 200 名（事前申込制）
- 6 トピック講座概要  
年間テーマ：ケアマネジャーが在宅療養時に対応に迷う時  
【趣 旨】  
ケアマネジャーにとって、対応が難しいと感じている事柄について主にとり上げる。病気そのものの知識だけではなく、在宅療養での生活への影響や工夫できる点を学べる講座とする。  
内 容：病院から在宅療養への移行時に注意すべき点やその疾患による生活への影響、生活上での工夫などを学べる講座とする。在宅療養での医療知識の習得を主とする。  
【各回テーマ】  
第 1 回：「障害福祉サービスについて」  
第 2 回：「医療制度について」  
第 3 回：「ターミナル期の支援について」  
第 1 回は、障害の程度によって介護保険サービスと障害福祉サービスを併用できる場合があることについて、市障害福祉課から制度に関する講義を行い、横須賀市健康福祉財団職員から、各サービスの併用事例を紹介する。

第2回は、医師や治療方法の選択、外来や入院の費用、転院の判断や流れ、低所得者への医療などについて講義を行う。

第3回は、講師によって次の①又は②の内容となる予定である。

①遺族への対応（グリーフケア）が中心の講義

②本人や家族への精神的な支援が中心の講義

開催時期：8月・10月・1月（毎月11日以降）

時間：平日午後（15～17時頃）

2時間以上を要する場合は、開始時間を早める。

会場：ヴェルクよこすかまたは生涯学習センター、横須賀市役所会議室

講師：第1回は、横須賀市市障害福祉課職員

及び横須賀市健康福祉財団訪問介護課職員

第2回は、横須賀市立うわまち病院 看護師長 神崎 由美子 氏

第3回は、横須賀共済病院の看護師に依頼予定

構成：①講義

②グループワーク

③質疑

## 7 その他

- ・ ケアマネジャー対象セミナーは横須賀市主催とし、横須賀市健康福祉財団の共催とする。
- ・ ヘルパー対象セミナーについては、横須賀市健康福祉財団が実施する。在宅療養連携会議が企画協力し、横須賀市共催とする。

## 参 考

|   | 内 容           | 時 期       | 講 師                                  |
|---|---------------|-----------|--------------------------------------|
| 1 | 障害福祉サービスについて  | 8月23日（金）  | 横須賀市障害福祉課 深井氏<br>横須賀市健康福祉財団訪問介護課 平田氏 |
| 2 | 医療制度について      | 11月18日（月） | 横須賀市立うわまち病院 看護師長<br>神崎 由美子 氏         |
| 3 | ターミナル期の支援について | 1月頃       | 横須賀共済病院の看護師に依頼予定                     |

\*時間は、いずれも平日午後（15時～17時頃が望ましいが、調整可能）

\*時期は、各月とも11日以降とする（ケアマネジャーの業務スケジュールの都合上）